

## 次期計画策定に向けた考え方について

### 1 基本理念について

本計画における基本理念は、目指す高齢者像と高齢者と共に暮らすまちの理想像を示したものです。現行の基本理念は、前期の計画までの理念の視点を踏まえつつ、介護保険制度の創出から今日までの社会情勢および時代背景の変化や高齢者を取り巻く現状と未来を鑑み策定したものです。

次期計画においても引き続きこの理念を掲げ、その実現に向け各施策に取り組むこととします。

#### 基本理念（案）

**高齢者がいきいきと暮らす、ふれあいと、ささえあいのまちをめざして**  
現行計画の理念を継続するとともに、その実現に向け以下の工程で計画を策定する

### 2 今後の協議事項について

#### (1) 本市の高齢者を取り巻く現状と課題の把握、分析および整理

本市における人口、世帯、要介護認定率をはじめ、各種調査の結果などから、本市の高齢者をとりまく現状と課題について把握・分析するとともに、次期計画の方針や施策の検討に向けた整理を行う。

#### (2) 基本方針、施策の目標および施策体系等の確認

基本方針、施策、事業の体系および取り組み内容について、項目2で整理した課題、法や制度の改正内容を踏まえた上で、必要に応じ現行計画の内容を見直すものとする。

#### (3) 介護サービス利用量の確認

国の支援ツールによる介護サービスの給付状況や人口および要介護認定者数の将来推計値のほか、サービス提供体制を検討するために実施した調査結果を踏まえ、サービス利用量を推計する。

#### (4) 成果指標の設定

次期計画期間中における取り組みの進捗状況が確認できるよう、項目3で定めた施策や各種調査の結果に関連する数値目標値を設定する。